



学校教育目標

- めあてをもって学ぶ子
- 自他を大切にする子
- 体をきたえる子

感謝の気持ちを伝えた6年生を送る会

2月26日(木)の3校時に6年生を送る会を行いました。児童会の新執行部にとっては、初めての大きな児童会行事の企画・運営となりました。

「6年生大好き!」の気持ちがあふれ出ている1年生と一緒に6年生が入場。温かな雰囲気の中で会が進行しました。体育館いっぱいに飾られた装飾、6年生の似顔絵、感謝と工夫が詰まった各学年からの発表など、会場全体が「ありがとう」の気持ちで満たされ、気持ちがつながった1時間となりました。会の後半では、各学年の代表が見事くす玉を割り、お祝いムードを盛り上げました。

3学期も残りわずかとなりましたが、こうした感謝や思いやりの気持ちを忘れず、中学校や次の学年に向けての準備をしながらまとめをしていきたいと思ひます。



令和8年度 児童会執行部・委員長が決まりました。

2月5日(木)には、今年度最後の児童会総会が行われ、この1年の活動報告と、よかった点や改善点、次年度に引き継ぎたいことを児童会長と各委員会の委員長が発表しました。

また、25日の全校朝会では、現執行部からのメッセージと新執行部、新委員長から「どんな学校にしたいのか」「そのためにどんな取組をするのか」の決意表明が行われました。緊張しながらもしっかり前を見て話す姿が頼もしかったです。

ここまで現執行部の皆さんがしっかりと繋ぎ、築いてきた石鳥谷小のよさを引き継ぎ、さらによりよくしていくことができるよう新執行部の皆さんにも頑張ってもらいたいと思ひます。

☆令和8年度 児童会執行部・委員長の皆さん☆

児童会長	山口 大智さん(5年)	放送委員長	工藤 姫渚さん(5年)
副会長	八重樫 遥花さん(5年)	体育安全委員長	高橋 結愛さん(5年)
	佐藤 壮さん(4年)	保健委員長	熊谷 ひなたさん(5年)
執行委員	柏木 凜さん(5年)	給食委員長	八重樫 遥翔さん(5年)
	畠山 拓磨さん(5年)	図書委員長	菅原 新さん(5年)
	伊藤 慧さん(4年)	環境福祉委員長	菅原 萌花さん(5年)
	及川 そらさん(4年)		
	三宮 結夢さん(4年)		

授業参観・PTA 合同専門委員会ありがとうございました。

2月6日(金)は今年度最後の授業参観日でした。6年生の体育や4・5年生の情報モラルの学習など、普段はなかなか見ることができない授業もあり、この1年間での子どもたちの成長を子ども自身も、保護者の皆様にも感じていただけたのではないのでしょうか。保護者の皆様からいただいた感想やご意見を受け、来年度は全ての学級でメディアとの付き合い方に関わる授業の公開を予定しています。

また、12日(木)には第2回PTA合同専門委員会を行いました。総務委員会、広報委員会、地区委員会のそれぞれの委員会で今年度の活動反省や来年度への引き継ぎ事項等を確認しました。今年度もPTAの皆様のご協力により様々な活動を行うことができました。本当にありがとうございました。



キャップハンディ体験(4年生)・昔の道具出前授業(3年生)

2月12日(木)に社会福祉協議会のご協力をいただいて4年生がキャップハンディ体験を行いました。3つのグループに分かれ、車椅子体験や白杖体験等を通して、不自由さを抱える方々の思いを感じ、自分たちにできることは何かを考える貴重な学びの機会となりました。自分たちの想像を超える不自由さや不安があることに気づいた子どもたち。この体験が他者を尊重し、思いやりの心につながることを思ひます。



2月27日(金)には、3年生が昔の道具について学びました。100年以上前に使われていた電話や手回し洗濯機、炭を使った鉄製のアイロンなど、初めて見る昔の道具に子どもたちは興味をもって熱心に観察しました。

学校保健委員会を開催

2月18日(水)に学校医の佐藤先生(さとう消化器内科クリニック)、金子先生(金子整形外科医院)、玉木先生(いしどりや眼科)、石黒先生(いしくろ歯科医院)と保健師の高橋さんに来校いただき、学校保健委員会を開催しました。PTAからも役員と総務委員の皆さんに参加いただき、本校児童の健康面での課題を共有しました。現状として、肥満度が昨年度よりも上昇していること、視力がA以上の割合が花巻市全体の割合を下回っていること、特に低学年において歯垢や歯肉の状態が悪い児童が昨年度よりも増加していることなどが挙げられました。

これらの結果を受けて協議の中心になったのが、運動機会の確保とメディアコントロールでした。この二つには密接な関わりがあるため、意図的に改善のための手立てを講じていくことが必要です。メディアよりも楽しいことを見つけられるようにすることの大切さについても話題になりました。子どもの脳はまだ未発達であるため、自制心がまだ育ちきっていない段階でメディアの魅力に触れてしまうと、なかなか止めることができない、との論文も発表されています。だからこそ、私たち大人と一緒に考え、ルールを作っていくことが大切なのだと思います。ご家庭でもお子さんと話し合ってみてください。